～次期総合基本計画の策定に向けて～
市民説明会を実施しました。

総合基本計画は、まちづくりの基本的な方向性を示し、市民と行政の共通の目標となる重要な計画です。

令和４（2022）年度からスタートする新しい計画が、市民の声を反映したものとなるよう、これまで意識調査やワークショップ形式の市民フォーラムを開催してきました。

このたびも、その一環として市民説明会を開催し、２日間の説明会の中で、市民の皆さんから様々な意見を伺うことができました。



計画策定にあたり、学識経験者や各種団体の代表者、市民公募委員など18人の委員で構成される審議会を設置し準備を進めています。今回の説明会は市と審議会の合同で開催し、新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」が適用される中、感染対策をしっかりとり実施しました。

【 市民説明会の開催概要 】

日　程		会　場	参加人数
第１回	令和３年４月 16 日（金） 18：30～19：55	市役所　市民ホール	７名
第２回	令和３年４月 18 日（日） 15：00～16：25	あいぽっく　講習室・休養室	17 名

（1）第１回　市役所市民ホール

意　見	市側の回答
生き方の選択肢が少なく、社会が重苦しく感じられる。やりたいことをやりたいと言えるような社会の実現、受験や就職だけではない選択肢があるということを行政がサポートしてほしい。	「多様性」や「意外性」はまちづくりの大事なテーマである。多様な生き方を尊重し共に支え合いながら、誰もが地域で楽しく暮らすことができるまちになるよう、計画を策定していきたい。
芸術・文化に対するサポートが少なく、もっと寛容な施策ができるとよい。	生涯にわたって学びや学び直しができるまちをつくっていきたい。文化芸術の推進に関する基本計画を策定する予定であり、いただいた意見を反映できるとよいと考えている。
コロナの終息が見えない状況で財政も厳しくなると想定される。歳出を減らしながら事業を進めていくには、相当知恵を出さなければならない。どのような対策をとっていくのか、分かりやすい形で示してほしい。	この状況が続くと仮定すれば４年程度で財政調整基金がなくなる計算だが、そうならないよう長期的視野に立って事業の選択と集中を徹底し、基金や市債をうまく使いながら対応していきたい。また、公共施設の維持・管理、更新についても、なるべく費用を抑えられるよう、長寿命化を図るなど手法を検討していきたい。 持続可能な財政運営を目指す財政計画を基本計画に包含することを考えており、計画の中でお示ししていきたい。
子育てしやすいまちづくりのためには、子育て支援の土台が必要である。商店街にファミリーでくつろげる場、憩いの場を増やすなどの具体的な計画はあるのか。	子育ての場づくりについては、これまでも取り組んでいるが、いただいた意見を参考に、よりよいものになるよう検討していきたい。
安全・安心なまちづくりとして、新型コロナウイルスをはじめとする感染症への対策が必要だが、基本的な医療体制や PCR 検査体制などについて、基本計画にどのように位置付けられるのか。	医療体制については、これまでも医療機関、医師会との協力関係の中で保健活動を行ってきたが、今回の PCR 検査やワクチン接種の準備を進める中で、より一層の協力関係を構築できた。こうした協力関係を踏まえて、計画を策定していきたい。
横田基地に飛来する飛行機の低空飛行が問題となっている。「爆音のまち昭島」とならないよう、「静かなまち昭島」を位置付けてほしい。	航空機騒音や航空機事故は、あってはならないことと認識している。これまでも基地周辺市町や都との連携の中で、国や米軍に要請を行ってきた。引き続き要請を重ねていきたい。

意　見	市側の回答
横田基地からの有害物質、汚染水の漏出については定期的なチェックが必要と考える。地下水100%のまち昭島にとって、水の汚染は重要な問題であると思うがいかがか。	PFOS、PFOAによる水の汚染についてもあってはならないことと認識している。現在では泡消火剤の使用実態はないが、保管されていると伺っている。都や基地周辺自治体との連携の中で、今後も状況を確認していきたい。
大型台風による風水害が問題となっている。 自治会としても取り組むが、行政とも連携をとれるようにしてほしい。	風水害をはじめとする災害に対しては、平時からの備えが大事である。国土強靭化地域計画を策定し、総合基本計画に包含することを予定している。
児童館が１つしかない。子ども達が安心して過ごせる場所として、どのようにしていく考えか。	児童館の整備については、既存施設の有効活用や集約化、複合化の際の児童館機能の確保も視野に入れ、設置の場所及び確固たる財源の確保を前提に検討したい。
高齢化、人口減少の中で、市内に年金で入れる高齢者施設等が長期計画に位置付けられないか。高齢社会に対応する夢や希望をどのように実現できるか、計画で示してほしい。	具体的な施設整備については、３年ごとに見直しを行っている介護保険事業計画において、計画期間内における給付サービスの状況を判断する中で検討することになっている。
今回の説明会で色々なことが理解できた。市の考えを地域ごとに説明することは大切である。地域ごとに行うなど、市民・地域と気持ちが通うよう、このような機会を丁寧に設けてほしい。	今回も５地区での開催を考えていたが、緊急事態宣言の関係もあり開催できなかった。回数や規模を拡大することが困難であったことはご理解いただきたい。なお、９月にはパブリックコメントに併せて市民説明会を行う予定である。 また、審議会には委員として自治会等の団体の代表者にも参画いただいている。ご意見等がある場合には委員に託していただく、もしくは、直接事務局へいただきたい。
環境学習ボランティアなどを務めてきたが、新しい人材がなかなか出てこない。「市民を育てる」という視点で施策を行ってほしい。	人材育成は重要な施策であると認識している。一方的に行うのではなく、市民の皆様と一緒の方向を向いて取り組めるよう、市民にも喚起を促していきたい。

（２）第２回　あいぽっく　講習室・休養室

意　見	市側の回答
一般会計の予算規模が昨年度より１億１千３百万円減となっているが、計画のどの部分を削って対応したのか。	市税収入の大幅な減少が見込まれる状況において、先送りできる事業は先送りし、一方で必要な事業は着実に実施する中で、庁内連携のもと全体として縮小したものである。
安全・安心なまち、多様性のあるまちにおいては、市の施策等を多言語で伝えることが大事である。どのくらいの種類の言語で対応しているのか。	英語が中心となっているが、都の指針等を受けて、ごみ収集カレンダーなどは５か国語（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語）で対応している。
文化芸術について、昭島にゆかりのある芸術家などを盛り立てていく動きが少ないように思う。まちの魅力の向上にもつながると思うがいかがか。	市内芸術家展などを実施しているが、今後策定する文化芸術の推進に関わる基本計画の中で、文化芸術を盛り上げていく取組を進めていきたい。
学校給食について、予算ありきではなく、子どもの心と体の健康を第一に考え、有機野菜や無農薬野菜を使うなどしてほしい。	総合教育会議等を通じて、教育委員会との連携の中で検討していきたい。
命につなげる性教育については子どもが小さいうちから行うことが重要であると思うがいかがか。	子どもの性教育については、学校教育だけでなく男女共同参画プランに位置付けられた事業においても取り組んでいる。
生涯学習講座として市の補助金を活用してボランティア活動を行ってきたが、今年度は予算がつかないと聞いて残念に思っている。	ボランティア活動の補助金については、生涯学習講座の他に市民活動に対する補助金もあるので検討していただきたい。
SDGs の 17 の目標と基本構想や計画の施策とが連携した形となるとよい。	時間の関係もあり、本日の説明では SDGs について触れなかったが、基本計画の施策の体系の中で関連付けていくよう工夫したい。
市の公共施設が借地に建っているものが多く、多額の賃借料を支払っている。今後も支払い続けるのか。	財政状況から市が単独で買い取ることは困難性がある。一方で、市にも遊休地があり、これらも含めて検討していく必要があると認識している。

意　見	市側の回答
昭和飛行機の経営権が外資系のファンドに移ったと聞いたが、今後、ゴルフ場や緑地、ホテルなどの行方が心配である。都が買い取って宿泊型の課外授業ができる施設にするなど、市にも市民にもよい形で活用できるとよいと思う。	昭和飛行機の土地は、市のまちづくりにとっても重要であることから、今後の動向を注視していきたい。
国や都が推進するデジタル化に関して、学校教育での子ども達へのタブレットの配付はどのような計画になっているのか。	タブレットは子どもの人数分は確保している。現在、家庭の Wi-Fi 環境に併せて、学校の環境を調査しているところであり、今年度中には何らかの方針が出る予定である。もう少しお時間をいただきたい。